

# 2023年3月期 第2四半期決算 連結業績概要

2022年11月7日

太陽誘電株式会社  
経営企画本部長  
佐瀬 克也

## 決算サマリー

### **2023年3月期第2四半期 業績概要**

- 売上高は863億円（前四半期比6%増）。インダクタが同29%増収で売上拡大を牽引。
- 需要の回復は当社の予測よりも弱く、8月時点の想定を下回った。
- 営業利益は165億円（同25%増）。為替影響と操業度効果が増益に寄与。

### **2023年3月期 業績予想**

- 5月に発表した通期業績予想を下方修正。
- 売上高3,420億円（前期比2%減）、営業利益420億円（同38%減）を計画。

### **2023年3月期第2四半期 業績概要**

第2四半期は、第1四半期に対して増収増益となりました。

売上高は6%増の863億円で、  
コンデンサとインダクタの増収が寄与しました。

特にインダクタの売上高は、前四半期から29%と大きく増加しました。

しかし、需要の回復は全体的に当社の予測よりも鈍く、  
売上高は8月時点の想定を下回りました。

営業利益は165億円で、  
円安の影響と操業度効果によって同25%の増益となりました。

### **2023年3月期 業績予想**

上期実績と今後の需要予測等に基づき、  
期初に発表した通期業績予想を下方修正しました。

売上高は前期から2%減の3,420億円を、  
営業利益は前期比38%減の420億円を計画しています。

| 第2四半期 連結業績概要(前四半期比) |                                    |        |                   |        |          |       |
|---------------------|------------------------------------|--------|-------------------|--------|----------|-------|
| 百万円                 | 2023年3月期<br>第1四半期                  |        | 2023年3月期<br>第2四半期 |        | 増減       |       |
| 売上高                 | 81,740                             | 100.0% | 86,272            | 100.0% | 4,532    | 5.5%  |
| 営業利益                | 13,142                             | 16.1%  | 16,475            | 19.1%  | 3,332    | 25.4% |
| 経常利益                | 17,204                             | 21.0%  | 18,355            | 21.3%  | 1,151    | 6.7%  |
| 親会社株主に<br>帰属する当期純利益 | 12,236                             | 15.0%  | 12,643            | 14.7%  | 406      | 3.3%  |
|                     |                                    |        |                   |        |          |       |
| 対米ドル期中平均レート         | 124.45円                            |        | 135.33円           |        | 10.88円円安 |       |
| 為替変動による影響額          | 売上高 +49億円、営業利益 +35億円 ※米ドル以外の通貨影響含む |        |                   |        |          |       |
|                     |                                    |        |                   |        |          |       |
| 研究開発費               | 3,112                              |        | 3,111             |        | △0       | △0.0% |
| 設備投資額               | 9,763                              |        | 10,602            |        | 838      | 8.6%  |
| 減価償却費               | 7,856                              |        | 8,468             |        | 612      | 7.8%  |
|                     |                                    |        |                   |        |          |       |
| ©TAIYO YUDEN 2017   |                                    |        | TAIYO YUDEN       |        |          | 3     |

2023年3月期第2四半期の業績は

売上高863億円、営業利益165億円となりました。

期末の為替レートが1米ドル145円と円安になったため、

営業外収益として15億円の為替差益が発生し、経常利益は184億円でした。

親会社株主に帰属する当期純利益は126億円となりました。

期中平均の為替レートは1米ドル135円、前四半期に対して11円の円安でした。

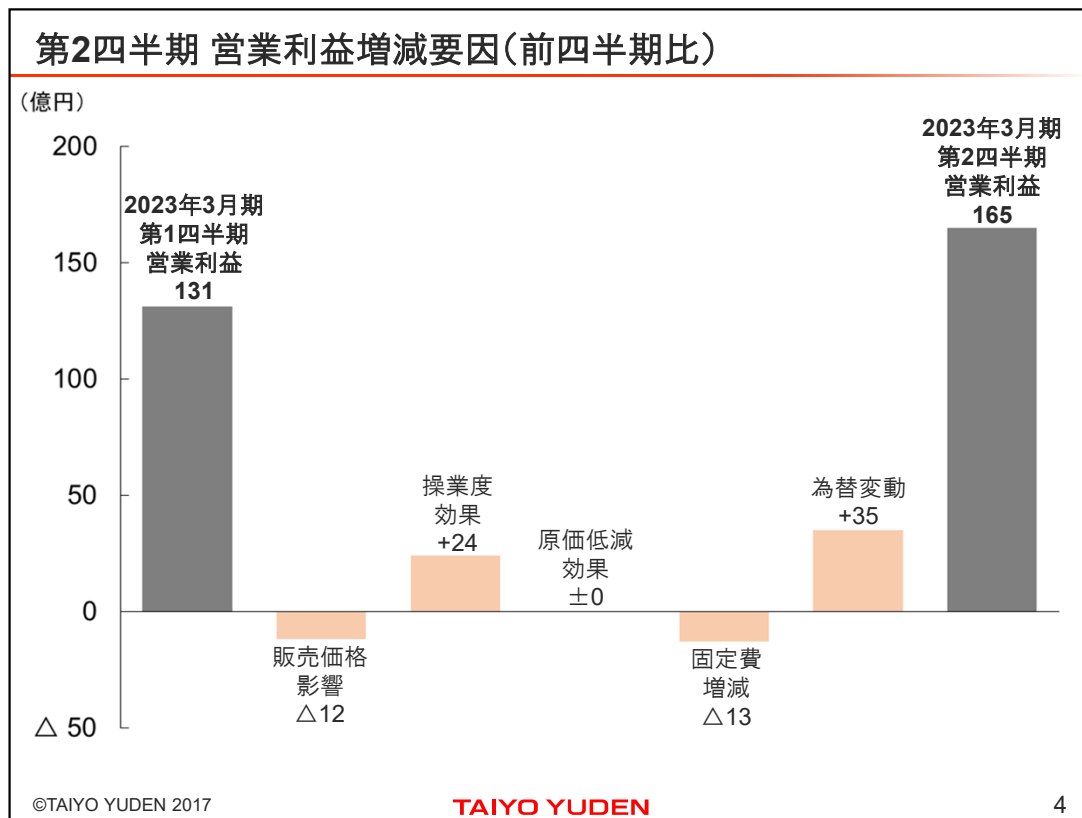
これにより、売上高に対しプラス49億円、

営業利益に対してプラス35億円の影響がありました。

研究開発費は、前四半期とほぼ同額の31億円でした。

設備投資額は、前四半期から8億円増加し、106億円となりました。

減価償却費は85億円で、前四半期から6億円増加しました。



営業利益が前四半期に対して増益となった要因は、円安による為替影響35億円と操業度効果24億円でした。

操業度効果には、販売数量増減やミックス改善、棚卸資産の増減などが含まれています。

第2四半期は、第1四半期に発生したロックダウンの影響の解消や北米スマートフォン向けの需要の高まりなどにより、販売数量が増加しました。また、9月末の全社の棚卸資産は、為替など利益に影響がない部分を除いた実態ベースで、6月末より74億円増加しました。

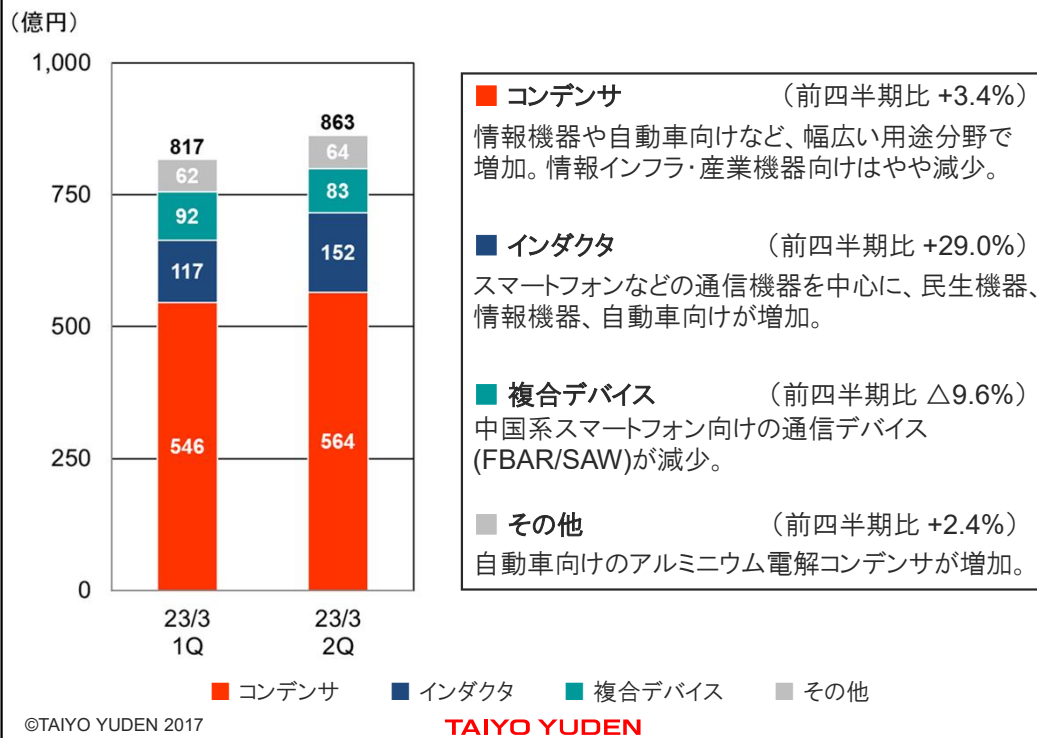
一方、減益要因として12億円の販売価格影響がありました。また、減価償却費や電力費などの増加により、固定費は13億円増加しました。

これらの結果、営業利益は第1四半期から33億円増加し、165億円となりました。

## 第2四半期 製品別売上高(前四半期比)

| 百万円    | 2023年3月期<br>第1四半期 |        | 2023年3月期<br>第2四半期 |        | 増減    |       |
|--------|-------------------|--------|-------------------|--------|-------|-------|
| コンデンサ  | 54,583            | 66.8%  | 56,438            | 65.4%  | 1,855 | 3.4%  |
| インダクタ  | 11,748            | 14.4%  | 15,156            | 17.6%  | 3,408 | 29.0% |
| 複合デバイス | 9,159             | 11.2%  | 8,276             | 9.6%   | △882  | △9.6% |
| その他    | 6,248             | 7.6%   | 6,400             | 7.4%   | 152   | 2.4%  |
| 合計     | 81,740            | 100.0% | 86,272            | 100.0% | 4,532 | 5.5%  |

## 第2四半期 製品別売上高(前四半期比)



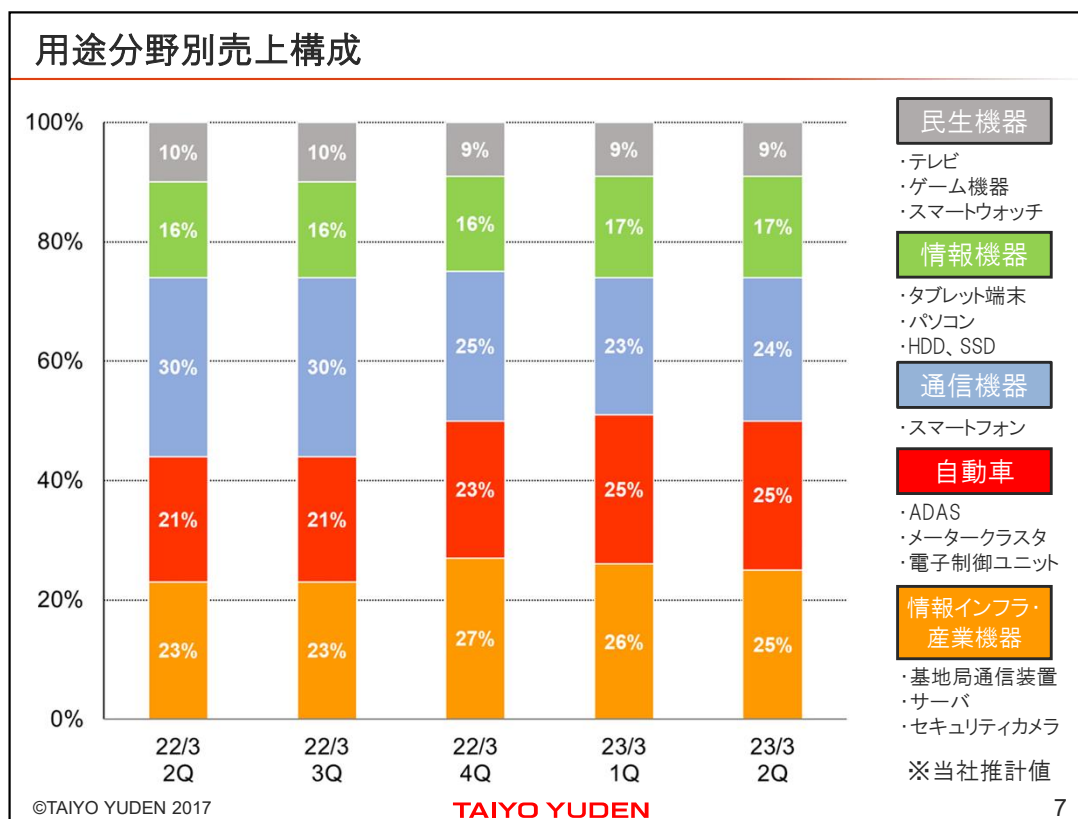
6

コンデンサの売上高は、前四半期比3%増の564億円でした。  
民生機器、情報機器、通信機器、自動車向けといった  
幅広い用途分野で売上を伸ばしました。  
一方、情報インフラ・産業機器向けはやや減少しました。

インダクタの売上高は、前四半期比29%増の152億円でした。  
季節的に需要期を迎えた北米スマートフォンなどの通信機器に加え、  
民生機器、情報機器、自動車向けで売上を伸ばしました。

複合デバイスの売上高は、前四半期から10%減少し、83億円となりました。  
中国系スマートフォンの生産調整等の影響で  
通信デバイス (FBAR/SAW) が減少しました。  
なお、複合デバイスの売上に占める通信デバイスの割合は60-65%でした。

その他は、主に子会社であるエルナーの自動車向けアルミニウム電解コンデンサが  
売上を伸ばし、前四半期比2%増の64億円となりました。



用途分野別の売上構成比は、前四半期から大きな変化はありませんでした。基地局通信装置やサーバなどを含む情報インフラ・産業機器向けが25%、自動車向けが25%、スマートフォンなどの通信機器向けが24%、タブレット端末やノートPCなどの情報機器向けが17%、ゲームやスマートウォッチなどの民生機器向けが9%となりました。

# 2023年3月期 連結業績予想

| 2023年3月期 連結業績予想(前回予想比) |               |         |         |               |         |         |
|------------------------|---------------|---------|---------|---------------|---------|---------|
| 百万円                    | 2023年3月期 前回予想 |         |         | 2023年3月期 今回予想 |         |         |
|                        | 上期            | 下期      | 通期      | 上期実績          | 下期      | 通期      |
| 売上高                    | 183,000       | 202,000 | 385,000 | 168,013       | 173,987 | 342,000 |
| 営業利益                   | 32,000        | 38,000  | 70,000  | 29,618        | 12,382  | 42,000  |
| 経常利益                   | 31,000        | 38,000  | 69,000  | 35,559        | 12,441  | 48,000  |
| 親会社株主に<br>帰属する当期純利益    | 21,500        | 26,500  | 48,000  | 24,880        | 8,620   | 33,500  |
| 対米ドル期中平均レート            | 120.00円       | 120.00円 | 120.00円 | 129.89円       | 143.00円 | 136.44円 |
| 研究開発費                  | —             | —       | 14,000  | 6,224         | 7,776   | 14,000  |
| 設備投資額                  | —             | —       | 60,000  | 20,366        | 39,634  | 60,000  |
| 減価償却費                  | —             | —       | 36,000  | 16,325        | 19,675  | 36,000  |
| ・ 5月に発表した業績予想を下方修正。    |               |         |         |               |         |         |
| ©TAIYO YUDEN 2017      |               |         |         | TAIYO YUDEN   |         | 9       |

2023年3月期の通期業績予想を、  
 期初に発表したものから下方修正しました。  
 世界的な金融引締めが進む中で、  
 パソコンやスマートフォン、データセンターなどを中心に  
 様々な市場で生産台数の減少や在庫調整が発生していることから、  
 電子部品の需要環境は期初の想定より悪化することが見込まれます。

売上高は3,420億円、営業利益420億円、経常利益480億円、  
 親会社株主に帰属する当期純利益は335億円を予想しています。

第3四半期以降の為替レートは、1米ドル143円の前提です。  
 今後の競争力向上に必要な研究開発活動や  
 コンデンサを中心とした能力拡大は計画通り進めており、  
 研究開発費、設備投資額、減価償却費の予想は変更していません。

2023年3月期 連結業績予想(前期比)

| 百万円                 | 2022年3月期 |        | 2023年3月期<br>予想 |        | 増減       |        |
|---------------------|----------|--------|----------------|--------|----------|--------|
| 売上高                 | 349,636  | 100.0% | 342,000        | 100.0% | △7,636   | △2.2%  |
| 営業利益                | 68,218   | 19.5%  | 42,000         | 12.3%  | △26,218  | △38.4% |
| 経常利益                | 72,191   | 20.6%  | 48,000         | 14.0%  | △24,191  | △33.5% |
| 親会社株主に<br>帰属する当期純利益 | 54,361   | 15.5%  | 33,500         | 9.8%   | △20,861  | △38.4% |
| 対米ドル期中平均レート         | 111.56円  |        | 136.44円        |        | 24.88円円安 |        |
| 研究開発費               | 13,099   |        | 14,000         |        | 901      | 6.9%   |
| 設備投資額               | 34,023   |        | 60,000         |        | 25,977   | 76.4%  |
| 減価償却費               | 31,287   |        | 36,000         |        | 4,713    | 15.1%  |

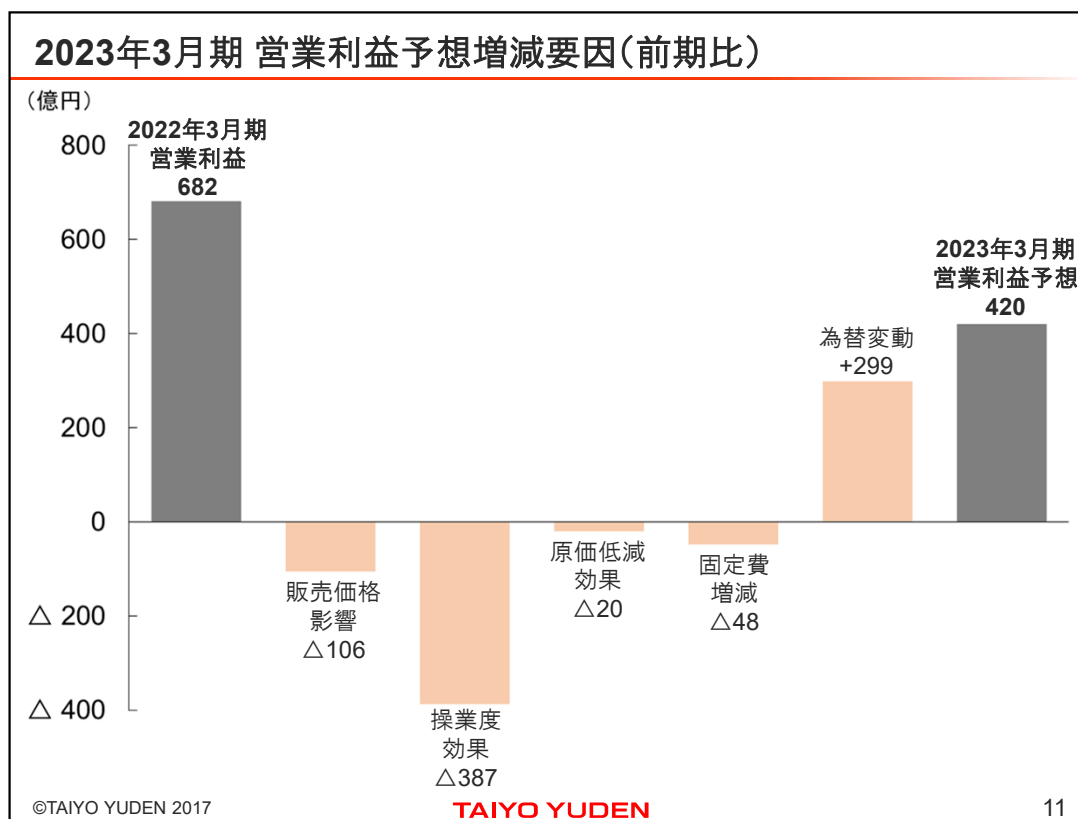
・ 5月に発表した業績予想を下方修正。

©TAIYO YUDEN 2017

TAIYO YUDEN

10

前期比では、売上高が2%の減収となり、  
各段階利益は30%以上の減益となる見込みです。



今期の主な減益要因は、操業度効果387億円と販売価格影響106億円です。  
 なお、3月末の棚卸資産は、為替など利益に影響がない部分を除いた  
 実態ベースで、前期末とほぼ同水準にする計画です。  
 また、原材料高騰による原価低減効果マイナス20億円や  
 固定費の増加48億円も減益要因となる見込みです。

円安による為替影響299億円の増益効果はあるものの、  
 営業利益は前期に対して262億円減少し、420億円となる見込みです。

## 2023年3月期 製品別売上高予想(前回予想比)

| 百万円    | 2023年3月期 前回予想 |         |         | 2023年3月期 今回予想 |         |         |
|--------|---------------|---------|---------|---------------|---------|---------|
|        | 上期            | 下期      | 通期      | 上期実績          | 下期      | 通期      |
| コンデンサ  | 126,000       | 136,000 | 262,000 | 111,021       | 114,979 | 226,000 |
| インダクタ  | 27,000        | 29,500  | 56,500  | 26,905        | 29,095  | 56,000  |
| 複合デバイス | 18,000        | 23,000  | 41,000  | 17,436        | 15,564  | 33,000  |
| その他    | 12,000        | 13,500  | 25,500  | 12,649        | 14,351  | 27,000  |
| 合計     | 183,000       | 202,000 | 385,000 | 168,013       | 173,987 | 342,000 |

通期の製品別売上高予想は、  
コンデンサが2,260億円、インダクタは560億円、複合デバイスは330億円で、  
いずれも期初の予想から下方修正しました。  
一方、その他は270億円で上方修正しました。

## 2023年3月期 製品別売上高予想(前期比)

| 百万円    | 2022年3月期 |        | 2023年3月期<br>予想 |        | 増減      |        |
|--------|----------|--------|----------------|--------|---------|--------|
| コンデンサ  | 230,383  | 65.9%  | 226,000        | 66.1%  | △4,383  | △1.9%  |
| インダクタ  | 48,925   | 14.0%  | 56,000         | 16.4%  | 7,075   | 14.5%  |
| 複合デバイス | 48,799   | 14.0%  | 33,000         | 9.6%   | △15,799 | △32.4% |
| その他    | 21,527   | 6.2%   | 27,000         | 7.9%   | 5,473   | 25.4%  |
| 合計     | 349,636  | 100.0% | 342,000        | 100.0% | △7,636  | △2.2%  |

前期比では、コンデンサが2%減、複合デバイスは32%減ですが、インダクタは15%、その他は25%の増収となる計画です。全社では2%の減収を見込んでいます。

## 下期 製品別売上高予想

| 百万円         | 2023年3月期<br>第2四半期 | 2023年3月期<br>第3四半期予想<br>(前四半期比増減) | 2023年3月期<br>第4四半期予想<br>(前四半期比増減) |
|-------------|-------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| コンデンサ       | 56,438            | ほぼ同水準                            | +4%程度                            |
| インダクタ       | 15,156            | +8~12%                           | △29~22%                          |
| 複合デバイス      | 8,276             | △9~5%                            | △2~+7%                           |
| その他         | 6,400             | +6~10%                           | +4~12%                           |
| 合計          | 86,272            | +1~3%                            | △3~0%                            |
| 対米ドル期中平均レート | 135.33円           | (前提) 143.00円                     |                                  |

第3・第4四半期の売上高予想は、この表のとおりです。

中国系スマートフォンは第3四半期で在庫調整がほぼ終了し、第4四半期からは緩やかな回復に転じる見込みです。  
北米スマートフォン向けは、第2四半期から第3四半期にやや増加して第4四半期に減少するという季節トレンドを想定しています。  
自動車向けの需要は引き続き堅調で、下期も売上拡大が続くと見込んでいます。  
一方、情報機器と情報インフラ・産業機器については、第3四半期にある程度の在庫調整が行われ、第4四半期には需要と連動した売上増があると予測しています。

足元では、各機器の需要動向や原材料費等のコスト増など、予断を許さない状況が続くものと見込まれます。  
しかしながら、自動車の電子化・電動化、データセンターなどの情報インフラ拡充といった、技術進化を背景とした電子部品の需要拡大トレンドに対する中期的な見方に変更はありません。  
今後も、太陽誘電の高い技術力を活かした高付加価値商品の開発と生産・販売拡大に注力してまいります。

## 補足資料

## 国際情勢、新型コロナウイルス感染症等の影響

### 販売

新型コロナウイルス感染症拡大による一部地域での大規模ロックダウンの影響を受け、2022年4-5月の出荷が停滞。

### 調達

調達コストの上昇や調達リードタイムの長期化が見られるものの、必要な材料や部材の確保には支障がない見込み。

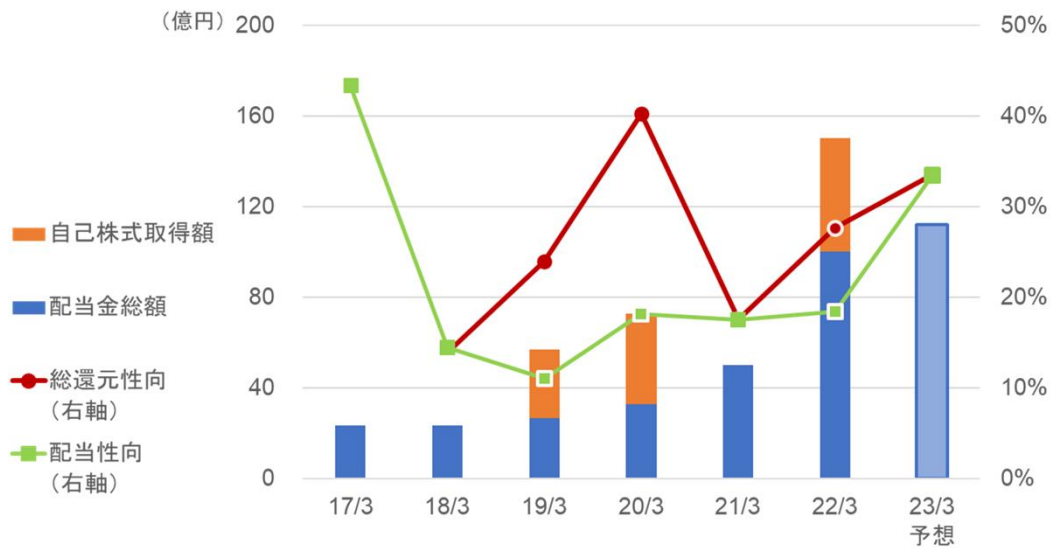
### 物流

一部で物流費の上昇や物流リードタイムの長期化などの影響が継続。代替便や代替ルートによる輸送などで対応。

### 生産

国内外全ての生産拠点が通常稼働中。

## 株主還元



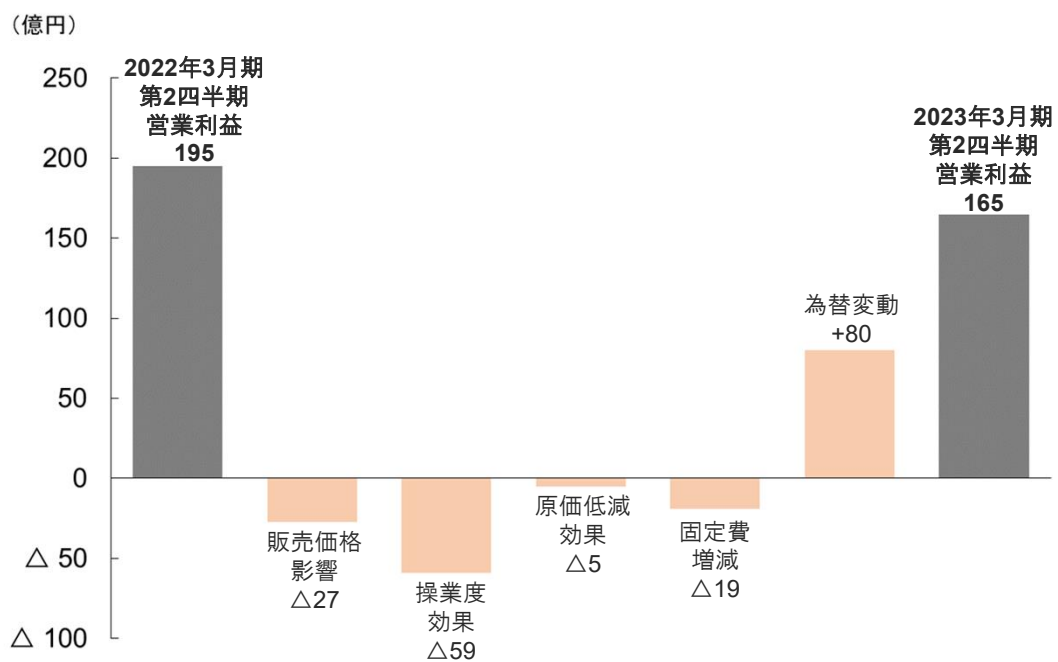
|               |       |        |        |        |        |        |        |
|---------------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1株当たり年間配当金(円) | 20    | 20     | 21     | 26     | 40     | 80     | 90     |
| 1株当たり当期純利益(円) | 46.08 | 138.80 | 189.93 | 143.04 | 227.99 | 433.46 | 268.84 |

安定的な配当性向30%の実現を目指す

## 第2四半期 連結業績概要(前年同期比)

| 百万円                 | 2022年3月期<br>第2四半期                   |        | 2023年3月期<br>第2四半期 |        | 増減       |        |
|---------------------|-------------------------------------|--------|-------------------|--------|----------|--------|
| 売上高                 | 88,833                              | 100.0% | 86,272            | 100.0% | △2,560   | △2.9%  |
| 営業利益                | 19,508                              | 22.0%  | 16,475            | 19.1%  | △3,033   | △15.5% |
| 経常利益                | 20,370                              | 22.9%  | 18,355            | 21.3%  | △2,015   | △9.9%  |
| 親会社株主に<br>帰属する当期純利益 | 15,479                              | 17.4%  | 12,643            | 14.7%  | △2,836   | △18.3% |
|                     |                                     |        |                   |        |          |        |
| 対米ドル期中平均レート         | 110.10円                             |        | 135.33円           |        | 25.23円円安 |        |
| 為替変動による影響額          | 売上高 +117億円、営業利益 +80億円 ※米ドル以外の通貨影響含む |        |                   |        |          |        |
|                     |                                     |        |                   |        |          |        |
| 研究開発費               | 3,219                               |        | 3,111             |        | △108     | △3.4%  |
| 設備投資額               | 9,076                               |        | 10,602            |        | 1,526    | 16.8%  |
| 減価償却費               | 7,677                               |        | 8,468             |        | 790      | 10.3%  |

## 第2四半期 営業利益増減要因(前年同期比)



## 第2四半期 製品別売上高(前年同期比)

| 百万円    | 2022年3月期<br>第2四半期 |        | 2023年3月期<br>第2四半期 |        | 増減     |        |
|--------|-------------------|--------|-------------------|--------|--------|--------|
| コンデンサ  | 59,035            | 66.5%  | 56,438            | 65.4%  | △2,596 | △4.4%  |
| インダクタ  | 12,863            | 14.5%  | 15,156            | 17.6%  | 2,293  | 17.8%  |
| 複合デバイス | 11,959            | 13.5%  | 8,276             | 9.6%   | △3,682 | △30.8% |
| その他    | 4,975             | 5.6%   | 6,400             | 7.4%   | 1,425  | 28.6%  |
| 合計     | 88,833            | 100.0% | 86,272            | 100.0% | △2,560 | △2.9%  |

## 第2四半期 製品別売上高(前年同期比)

(億円)

1,000



■ **コンデンサ** (前年同期比  $\Delta 4.4\%$ )

情報機器、自動車、情報インフラ・産業機器向けが増加したが、通信機器向けが減少。

■ **インダクタ** (前年同期比  $+17.8\%$ )

民生機器、情報機器、通信機器向けが増加。

■ **複合デバイス** (前年同期比  $\Delta 30.8\%$ )

スマートフォン向けの通信デバイス(FBAR/SAW)、各種モジュールが減少。

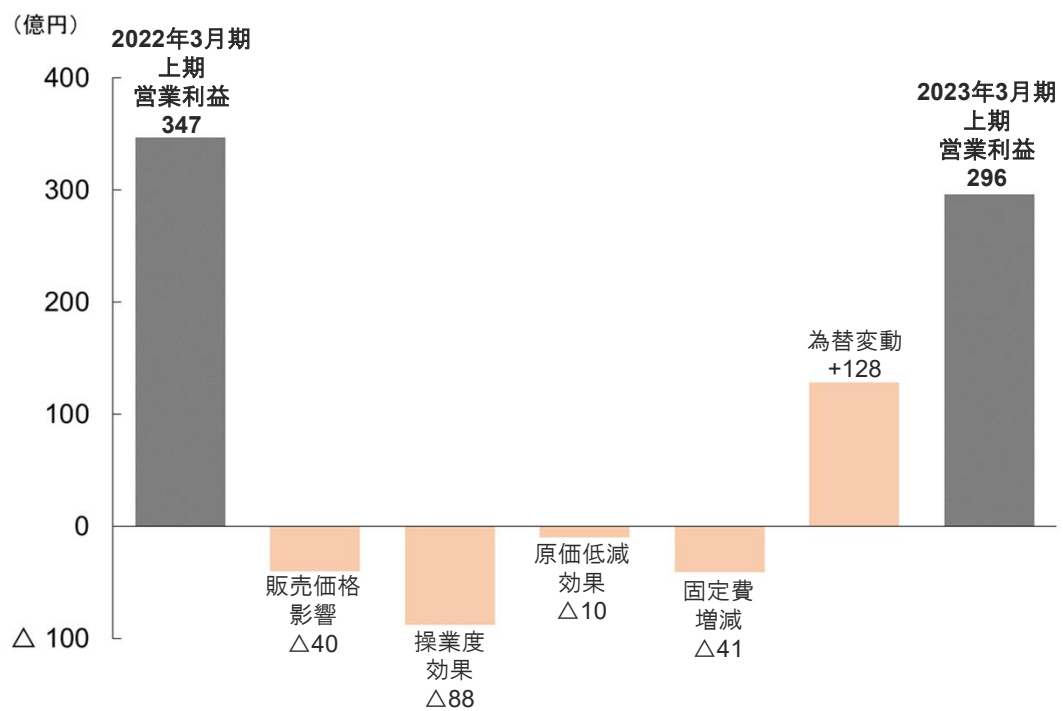
■ **その他** (前年同期比  $+28.6\%$ )

自動車向けのアルミニウム電解コンデンサが増加。

## 上期 連結業績概要(前年同期比)

| 百万円                 | 2022年3月期<br>上期                       |        | 2023年3月期<br>上期 |        | 増減       |        |
|---------------------|--------------------------------------|--------|----------------|--------|----------|--------|
| 売上高                 | 172,670                              | 100.0% | 168,013        | 100.0% | △4,657   | △2.7%  |
| 営業利益                | 34,655                               | 20.1%  | 29,618         | 17.6%  | △5,037   | △14.5% |
| 経常利益                | 35,544                               | 20.6%  | 35,559         | 21.2%  | 15       | 0.0%   |
| 親会社株主に<br>帰属する当期純利益 | 28,448                               | 16.5%  | 24,880         | 14.8%  | △3,568   | △12.5% |
|                     |                                      |        |                |        |          |        |
| 対米ドル期中平均レート         | 109.55円                              |        | 129.89円        |        | 20.34円円安 |        |
| 為替変動による影響額          | 売上高 +188億円、営業利益 +128億円 ※米ドル以外の通貨影響含む |        |                |        |          |        |
|                     |                                      |        |                |        |          |        |
| 研究開発費               | 6,358                                |        | 6,224          |        | △134     | △2.1%  |
| 設備投資額               | 16,671                               |        | 20,366         |        | 3,694    | 22.2%  |
| 減価償却費               | 14,972                               |        | 16,325         |        | 1,352    | 9.0%   |

## 上期 営業利益増減要因(前年同期比)



## 上期 製品別売上高(前年同期比)

| 百万円    | 2022年3月期<br>上期 |        | 2023年3月期<br>上期 |        | 増減     |        |
|--------|----------------|--------|----------------|--------|--------|--------|
| コンデンサ  | 112,244        | 65.0%  | 111,021        | 66.1%  | △1,222 | △1.1%  |
| インダクタ  | 24,250         | 14.0%  | 26,905         | 16.0%  | 2,655  | 11.0%  |
| 複合デバイス | 25,936         | 15.0%  | 17,436         | 10.4%  | △8,500 | △32.8% |
| その他    | 10,239         | 5.9%   | 12,649         | 7.5%   | 2,409  | 23.5%  |
| 合計     | 172,670        | 100.0% | 168,013        | 100.0% | △4,657 | △2.7%  |

## 上期 製品別売上高(前年同期比)

(億円)



### ■ コンデンサ (前年同期比 $\Delta$ 1.1%)

情報機器、自動車、情報インフラ・産業機器向けが増加。中国系スマートフォン向けが減少。

### ■ インダクタ (前年同期比 +11.0%)

ワイヤレスイヤホンなどの民生機器向けやタブレット端末などの情報機器向け、スマートフォンを中心とした通信機器向けが増加。

### ■ 複合デバイス (前年同期比 $\Delta$ 32.8%)

中国系スマートフォン向けの通信デバイス(FBAR/SAW)、各種モジュールが減少。

### ■ その他 (前年同期比 +23.5%)

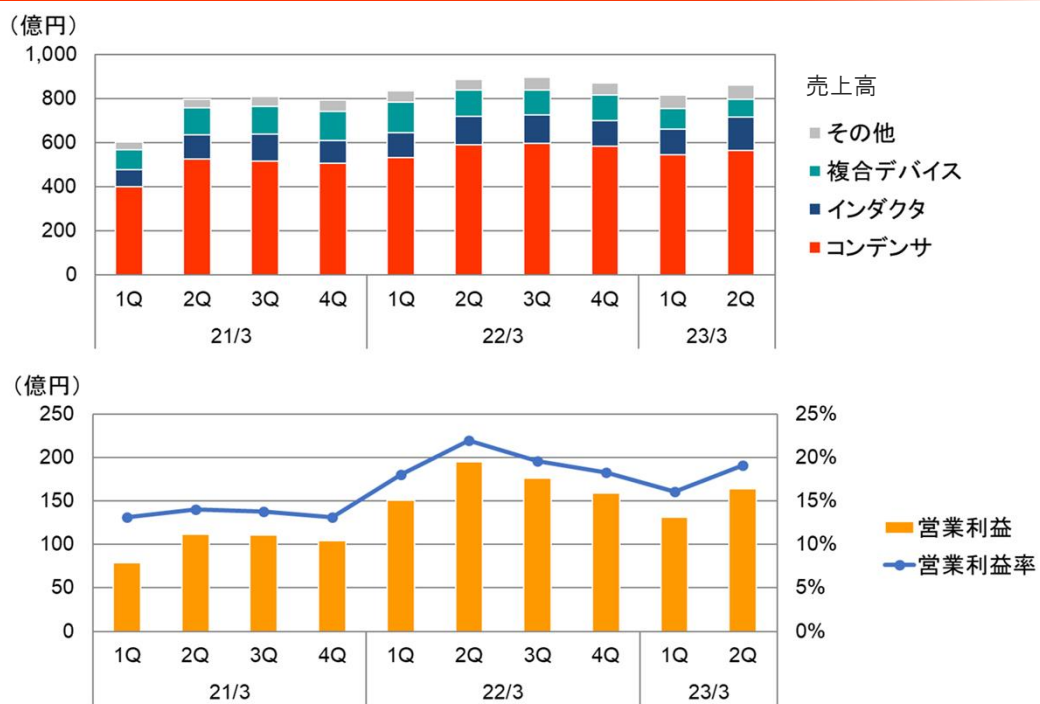
自動車向けのアルミニウム電解コンデンサが増加。

■ コンデンサ ■ インダクタ ■ 複合デバイス ■ その他

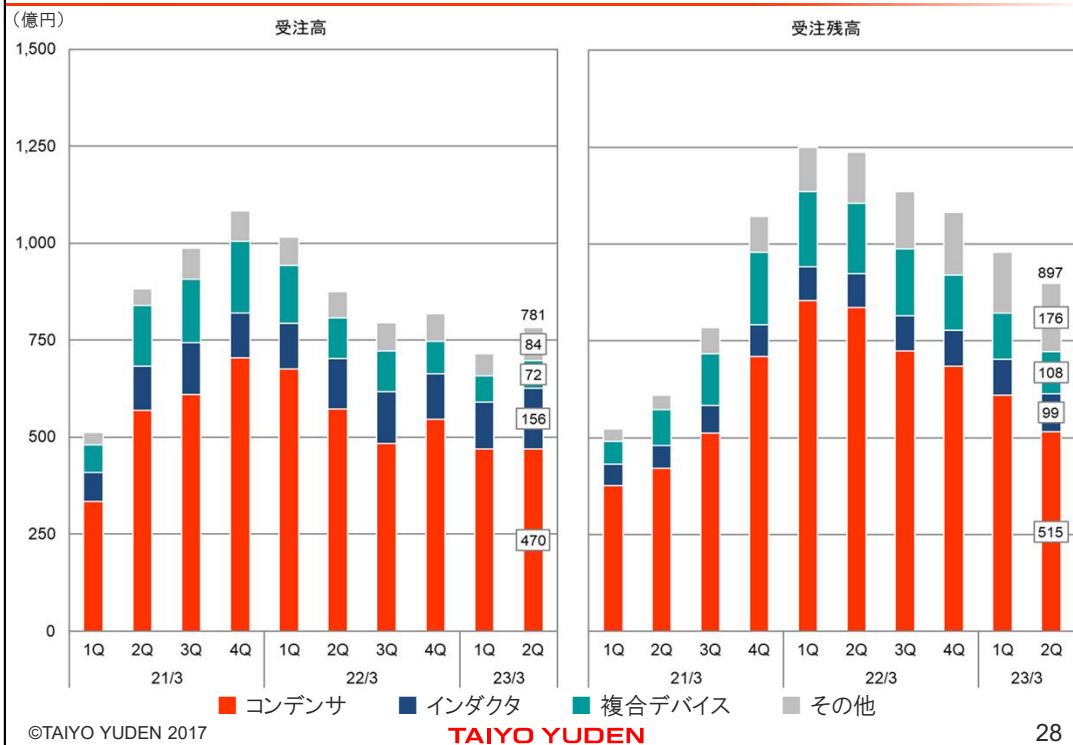
## 連結業績推移(四半期)

| 百万円                     | 2021年3月期 |         |         |         | 2022年3月期 |         |         |         | 2023年3月期 |         |
|-------------------------|----------|---------|---------|---------|----------|---------|---------|---------|----------|---------|
|                         | 1Q       | 2Q      | 3Q      | 4Q      | 1Q       | 2Q      | 3Q      | 4Q      | 1Q       | 2Q      |
| 売上高                     | 60,493   | 79,728  | 81,226  | 79,471  | 83,836   | 88,833  | 89,840  | 87,125  | 81,740   | 86,272  |
| コンデンサ                   | 40,075   | 52,596  | 51,895  | 50,630  | 53,209   | 59,035  | 59,787  | 58,352  | 54,583   | 56,438  |
| インダクタ                   | 7,928    | 10,903  | 12,230  | 10,501  | 11,386   | 12,863  | 12,957  | 11,717  | 11,748   | 15,156  |
| 複合デバイス                  | 9,075    | 12,330  | 12,311  | 13,213  | 13,977   | 11,959  | 11,351  | 11,510  | 9,159    | 8,276   |
| その他                     | 3,413    | 3,899   | 4,788   | 5,125   | 5,263    | 4,975   | 5,743   | 5,545   | 6,248    | 6,400   |
| 営業利益                    | 7,923    | 11,203  | 11,199  | 10,440  | 15,147   | 19,508  | 17,643  | 15,919  | 13,142   | 16,475  |
| 経常利益                    | 7,371    | 10,812  | 11,422  | 11,641  | 15,174   | 20,370  | 18,390  | 18,256  | 17,204   | 18,355  |
| 親会社株主に<br>帰属する<br>当期純利益 | 4,541    | 6,900   | 8,383   | 8,789   | 12,969   | 15,479  | 13,410  | 12,502  | 12,236   | 12,643  |
| 対米ドル<br>期中平均レート         | 107.61円  | 106.82円 | 105.15円 | 104.31円 | 109.00円  | 110.10円 | 112.48円 | 114.66円 | 124.45円  | 135.33円 |

## 連結業績推移(四半期)



## 受注高・受注残高推移(四半期)



当資料に記載されている、当社（太陽誘電株式会社、および当社グループ）に関する計画、業績見通し、戦略、確信等のうち、将来の記述をはじめとする歴史的事実ではないものは、すべて現在、当社が入手している情報に基づいて行った予測、想定、認識等を基礎として記載しているものであり、その性質上、客観的に正確であるという保証、ならびに将来その通りに実現するという保証はありません。実際の業績は、数々の要素により、現状の見通し等とは大きく異なる結果となりえ、かつ、当社が事業活動の中心とするエレクトロニクス市場は変動性が激しいことから、当資料に全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。

**TAIYO YUDEN**